

# ***RUBY®10 Speech***

## **ルビー10スピーチ**



*Advanced Features and Functions*



日本語版作成: 有限会社エクストラ

©2021 Freedom Scientific, Inc.

ルビーは、Freedom Scientific, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です本書の無断複写・転載を禁じます。本書の情報は、予告なしに変更されることがあります。Freedom Scientificの書面による明示的な許可なしに、この出版物のいかなる部分も、電子的または機械的、目的を問わず、いかなる形式または手段でも複製または送信することはできません。

#### 保証

ルビー10の保証期間はご購入から1年間です。保証についての詳細は製品に同封されている保証書をご確認ください。

**注意:** 本機には、使用者の手によって修理できる部品はありません。機器のいかなる部分であっても、勝手に分解、改造すると製品保証が無効になります。

#### 問い合わせ先

ルビー10のご利用にあたって、不明な点や問題点がございましたら株式会社インサイトのサポート窓口または、ご購入いただいた販売店様へご連絡ください。

株式会社インサイトへ直接お電話にてご連絡される場合には、

022-342-6801までご連絡ください。

修理受付について

<https://www.s-insight.jp/repair.html>

## 目次

はじめに .....	1
ルビー 10の充電 .....	1
ルビー10の充電方法: .....	1
初めての使用 .....	2
ルビー10を使用する前に: .....	2
電源オフとスリープ .....	3
<b>ルビー10の概要.....</b>	<b>4</b>
内容物.....	4
キャプチャ .....	5
ヘルプテキスト .....	5
表示ビュー .....	8
ボタン .....	11
画面アイコン .....	13
画面オプション .....	14
タッチパネル.....	14
メニュー操作 .....	15
タッチバイブレーション .....	16
<b>デフォルトモードと詳細モード.....</b>	<b>17</b>
デフォルトモード.....	17
デフォルトモードのメインメニュー.....	18
デフォルトモード ライブビュー時のアイコン .....	19
遠方用カメラ .....	19
フルページカメラ .....	20
拡大用カメラ .....	22
詳細モード .....	23
詳細モードのメインメニュー .....	23

詳細モード ライブビュー時のアイコン .....	24
遠方用カメラ .....	24
フルページカメラ .....	27
拡大用カメラ .....	29
<b>カメラ .....</b>	<b>31</b>
拡大用カメラ .....	32
遠方用カメラ .....	33
フルページカメラ .....	36
テキスト認識/読み上げ .....	38
手書き .....	39
<b>ライブビュー .....</b>	<b>40</b>
ライブビュー時の倍率変更 .....	40
カラーモード .....	41
タップ-フォーカスを合わせる・アイコンの表示/非表示 .....	41
フォーカスロック .....	41
ライト .....	41
ラインとマスク .....	41
スナップショット .....	42
<b>色、コントラスト、鮮明さ .....</b>	<b>43</b>
色の組み合わせ .....	45
視覚設定 .....	48
光感受性フィルター .....	48
色覚フィルター .....	49
視覚効果 .....	50
明るさ .....	50
コントラスト .....	51
エッジ効果 .....	52
設定のリセット .....	55

<b>ファイルの保存とスキャン</b> .....	<b>56</b>
ページのキャプチャ .....	56
複数のページをキャプチャする .....	56
タッチスクリーンを使用したナビゲーション .....	57
ページ番号を使用したナビゲーション .....	58
ページ順序の変更 .....	58
ファイルの保存 .....	59
オーディオタグの録音 .....	60
読み上げ言語と音声 .....	62
表示モード .....	63
テキストモードボタン .....	64
画面表示モード .....	64
<b>ファイル管理(詳細モードのみ)</b> .....	<b>65</b>
ファイルを開いて編集する .....	66
画像ファイルを編集する .....	67
文書ファイルを編集する .....	68
ファイルのエクスポートとインポート .....	69
ファイルの保存可能容量と削除 .....	70
ファイルの保存可能容量 .....	70
ファイルの削除 .....	70
<b>ルビー10と外部デバイスの接続</b> .....	<b>72</b>
オーディオジャック接続 .....	72
USB-C ケーブル接続 .....	72
Miracastを使った映像出力(詳細モードのみ) .....	73
Miracast対応ディスプレイへの接続 .....	73
Miracast接続のステータス .....	74
Bluetooth 無線接続 .....	75
Bluetooth を使用した接続 .....	75
Bluetoothを再度有効にした場合 .....	76

Bluetoothの接続状態 .....	76
<b>ルビー10のアップデート .....</b>	<b>77</b>
必要事項 .....	77
USB-Cフラッシュメモリを使用したルビー 10のアップデート .....	78
USB-Cケーブルを使用したアップデート .....	79
<b>メニュー.....</b>	<b>81</b>
ファイル管理.....	82
設定メニュー .....	82
画面表示メニュー .....	83
言語メニュー .....	84
システム設定.....	85
デフォルトモード／詳細モード .....	86
情報 .....	86
Miracast.....	87
Bluetooth .....	87
視覚効果 .....	87
音設定.....	87

## はじめに

はじめに、この章に記載されている手順に従って、本体を充電してから使用を開始してください。

### ルビー 10の充電

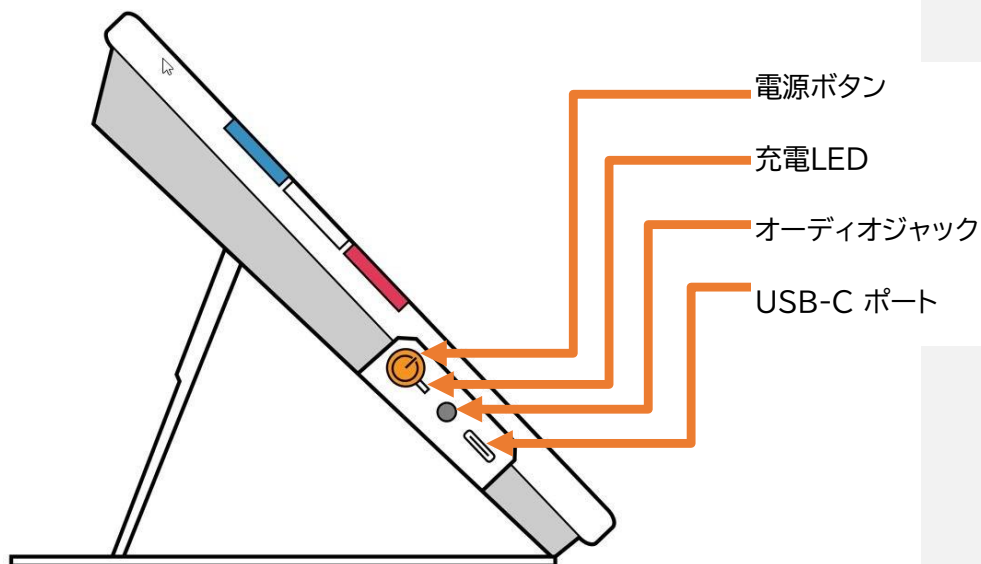
初めてご使用になる前に、ルビー10の本体を充電してください。満充電には、約4時間かかります。本体左側にある充電LEDライトが赤く点灯する場合は、バッテリー残量が少なくなっているサインです。充電中はLEDが赤く点灯し、充電が完了すると緑色に変わります。満充電状態から、最大3.5時間※ご使用いただけます。

※バッテリーは消耗品であり、その寿命は使用環境によって変化します。満充電状態での使用時間は、充電回数および使用開始からの時間経過とともに徐々に短くなります。長期間の使用により消耗した場合は、販売店までお問い合わせ下さい



#### ルビー10の充電方法：

1. USB-Cケーブルを本体左側のUSB-Cポートに接続します。
2. USB-Cケーブルを充電アダプタに接続し、充電アダプタをコンセントに差します。充電アダプタを使用せず、パソコンなどのUSBポートから充電することも可能ですが、充電に時間がかかる場合があります。
3. 本体左側面のオレンジの電源ボタンを押して電源を入れます。



## 初めての使用

初めてルビー 10を使用する場合、メニュー言語、音声、フォントサイズ、時刻、日付を設定する必要があります。これらの設定は、後から変更することも可能です。工場出荷時設定にリセットした際は再設定が必要になります。

ヒント： ボタンやアイコンの用途が分からない場合、3秒以上長押しすると、ヘルプテキストが表示されます。

### ルビー10を使用する前に：

1. ルビー 10を充電し、本体左側面のオレンジの電源ボタンを押して電源を入れます。詳しくは前ページを参照してください
2. ルビー10の電源を最初に入れた際、**メニュー言語の選択**が表示されます。画面を上下にスクロールして、メニュー表示に使用する言語を選択してください。
3. 選択後、右下に表示されている**次へ**アイコンをタップし、次の**フォントサイズ**画面へ進んでください。





4. フォントサイズ画面では、メニュー表示に使用するフォントのサイズをスクロールして選択します。選択後、画面右下に表示されている次へアイコンをタップし、次のメニュー音声の選択画面へ進んでください。前の画面に戻る場合は、画面右下の戻るアイコンを押します。



5. メニュー音声の選択画面では、メニュー項目やヘルプテキストを読み上げる際の音声を選択します。選択後に、次へアイコンを押して日付の選択画面に進んでください。

ノート: 音声は、次の手順で再設定可能です。  
メインメニュー> 設定メニュー> 言語メニュー> メニュー言語の選択

6. 日付の選択画面では、年・月・日を選択します。選択後は、次へアイコンを押して、時刻の選択画面へ進んでください。
7. 時刻の選択画面では、24時間表示で時・分を選択します。選択後、次へアイコンを押すと、設定が完了し、ライブビューが表示されます。

ノート: 時刻は次の手順で再設定可能です。  
メインメニュー> 設定メニュー> システム設定> 日付と時刻

## 電源オフとスリープ

電源をオフにするには、電源ボタンを7秒程長押ししてください。スリープ状態にするには、一度短押しします。

## ルビー10の概要

### 内容物

以下ルビー10パッケージの内容物です。

- ルビー10本体
- 収納バッグ
- USB-Cケーブル付きのUSBアダプタ
- 海外用電源プラグ(C、O、SE)
- クリーニングクロス
- 保証書
- ユーザ登録カード
- 外観と各ボタンの説明
- 3つのカラーモードの説明
- 取扱説明書(本書)

内容物に不足がある場合は、販売代理店または株式会社インサイトにお問い合わせください。

コメントの追加 [Esr1]: 同梱するかどうか？

## キャプチャ

ライブビューとキャプチャには、用途の異なる3台のカメラを使用します。ライブビュー使用時に対象物を拡大表示できるので、キャプチャする手助けになります。キャプチャすると、画像の保存、テキスト認識、また認識したテキストを読み上げさせることが可能です。

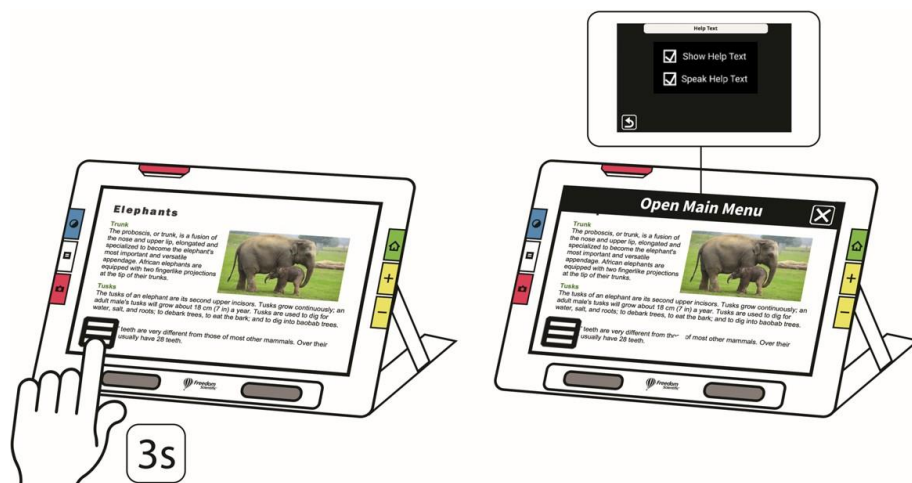
キャプチャボタン(赤)を短押しすると、画面上の映像をスナップショットとして静止できます。キャプチャボタンを長押し(3秒)すると、ページの保存、テキスト認識、読み上げが可能です。

## ヘルプテキスト



ヘルプテキスト機能は、ルビー10の機能を覚えるのに役立つ機能です。ボタンまたは画面上のアイコンを3-4秒長押しすると、ヘルプテキストが表示され、そのボタンまたはアイコンが何の機能か表示します。

例えば、青色のカラーモードボタンを3秒程長押しすると画面上部に、このボタンに関する情報が表示されます。また、画面に表示されるアイコンも3秒程長押しすると、下記の図のように画面上部にボタンの説明が表示されます。

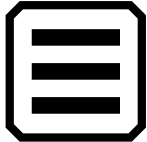


ヘルプテキストの表示は、テキストの右に表示されるキャンセルアイコンを押すと閉じることができます。



ヘルプテキストを読み上げさせたい場合：

1. 画面をタップし、画面上のアイコンを表示させます。
2. メインメニューアイコンをタップします。



3. メインメニューから、  
設定メニュー＞言語メニュー＞ヘルプテキストへ進みます。



>



>



4. ヘルプテキストの設定画面上では、ヘルプテキストの表示と読み上げに関する設定を変更できます。ヘルプテキストを読み上げさせるにはヘルプテキストを読み上げに✓を入れてください。



## 表示ビュー

ルビー 10 は、使用するビューによって異なる動作をします。ライブビューでは、拡大や色変更などの設定を反映させた状態で表示し、キャプチャしやすい状態で表示します。緑のライブビューボタンを押すと、いつでもライブビューで表示します。

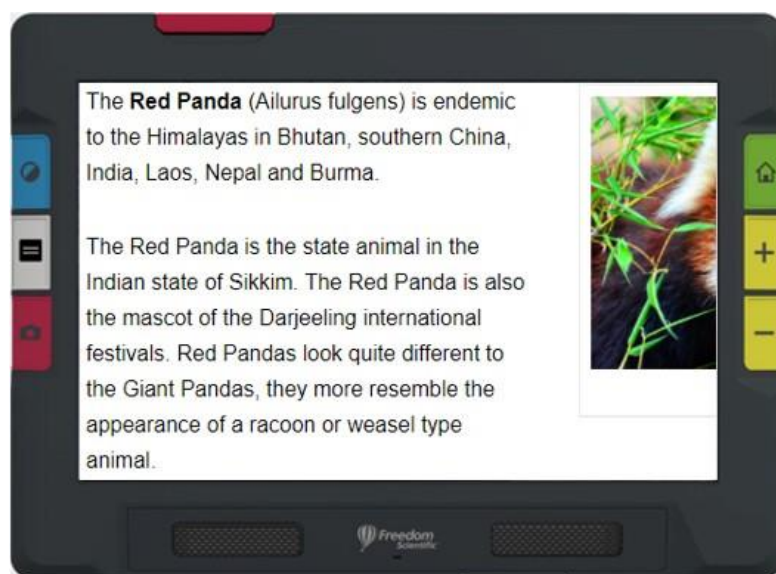
赤いキャプチャボタンを短押しすると、表示している映像を静止させます。



キャプチャした画像を拡大した場合、画面をタッチしたまま指を動かす事で表示位置の移動が可能です。例えば、上の図の様にシャツをキャプチャし、拡大してラベルを確認した場合、拡大したことで表示できなくなった部分があります。画面をタッチしたまま指を動かすことで表示できなくなった部分に表示を移動して他の位置も確認することができます。

キャプチャボタンを長押しすると、ページ保存し、画像上のテキストを認識して読み上げることができます。

認識したテキスト、または、インポートされたファイル(RTF、PDF、DOCX)を表示する場合、ドキュメントビューで表示されます。ドキュメントビューには、以下画像のような、イメージモード、プロンプタモード、ティッカーモードがあります。各モードはテキストモードボタンを押すたびに切り替わります。



イメージモードの例



プロンプタモードの例



ティッカーモードの例

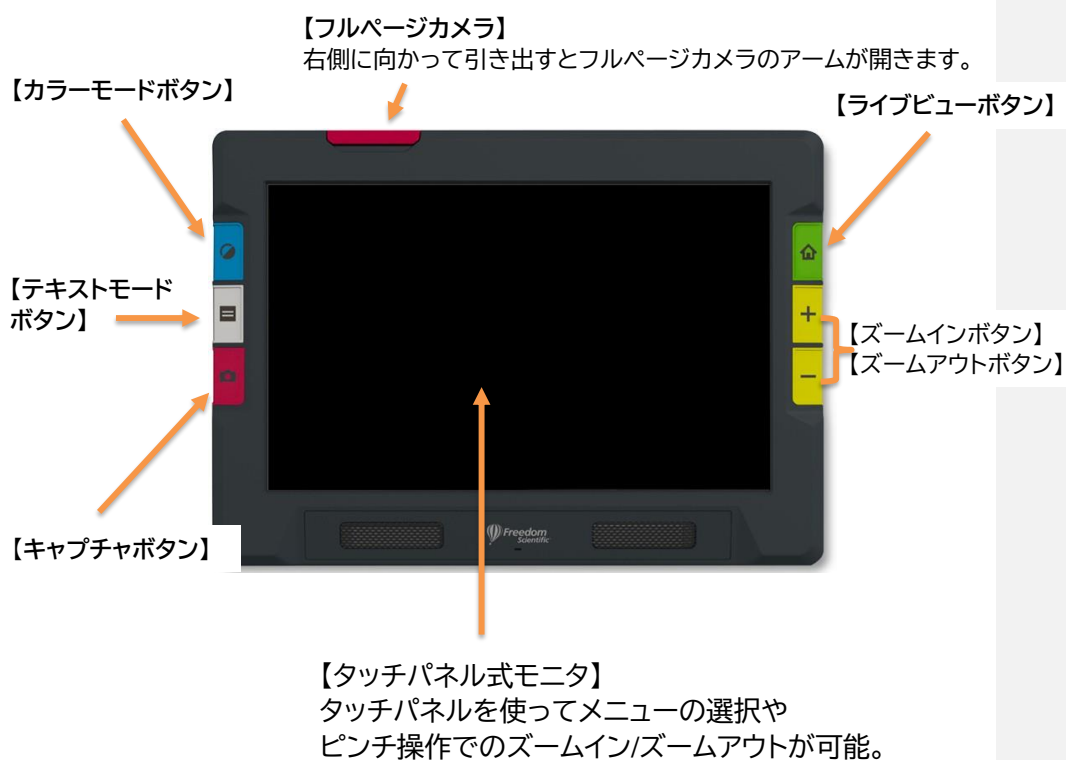









## ボタン

次の図では各ボタンの機能を説明しています。続く表の中では、更に詳しく説明します。

図内の長押しとは、1秒程ボタンを押してから離す操作を指します。反対に、短押しは押してボタンを押してから一瞬で操作を指します。

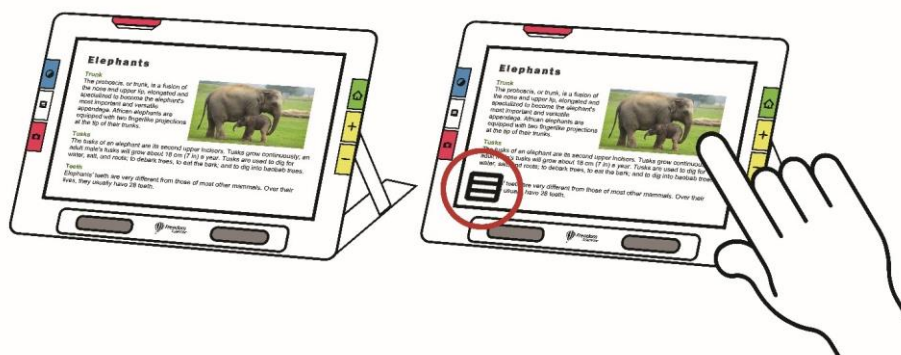
メモ: ライブビューモードでは、カラーモードボタン(青)を長押しして離すと、フルカラーに切り替わります。カラーモードボタンから指を離さない限り、画面の色は変更されません。



ボタン	色	位置	機能
 電源	オレンジ	本体左側	電源オフの状態ですと電源がオンになり起動します。 起動中に短く押すとスタンバイモードになります。 起動中に長押しすると電源をオフにします。
 カラーモード	ブルー	パネル 左上段	短押しすると、設定された色の組み合わせが切り替わります。 ライブビューモードで長押しするとフルカラーで表示します。
 テキスト モード	グレー	パネル 左中段	ライブビューモードでラインとマスクの表示と切り替えに使用します。 ドキュメントモードではプロンプタ、ティッカー、画像、ゾーンの各モードを切り替えます。
 キャプチャ	レッド	パネル 左下段	短く押すと画面に表示中の画像を静止画表示します。長押しすると画像を静止画表示し、同時に OCR 認識を実行します。
 ライブビュー	グリーン	パネル 右上段	現在のカメラ映像を表示します。
 ズームイン  ズームアウト	イエロー	パネル 右中段/ 右下段	+を押すとズームイン、-を押すとズームアウトします。長押しすることで連続して拡大率を変更できます。 また、画面上でピンチイン、ピンチアウトの操作でも拡大率を変更することができます。

## 画面アイコン

画面をタッチすると画面上にアイコンが表示されます。これらのアイコンを使用して、特定の操作や本体の設定を行うことが可能です。



表示されるアイコンは、使用しているビューの種類や、「デフォルトモード」か「詳細モード」によって異なります。詳細モードでは利用できる機能が増えます。アイコンに関する詳細は各章の中で説明します。

## 画面オプション

画面の映像は、フルカラー、ハイコントラスト、グレースケール表示が可能です。以下のような補正を適用できます:

- 色覚フィルター-色覚多様性の方向けに、色を見やすく補正。
- コントラスト調整- カラー/グレースケール表示の補正。
- ダイナミックコントラスト-テキストを背景から目立たせる補正。
- 光感受性フィルター-明るさに敏感な方向けの色補正。
- エッジスムージング、エッジハイライト、エッジのみモード

これらの補正の設定方法は43ページの「色、コントラスト、鮮明さ」をご参照ください。

## タッチパネル

ルビー10には、以下のタッチパネルを使用する操作があります。

- 画面上のアイコンをタップし、メニュー操作・機能を実行するタップ操作。
- 選択項目のリスト内を移動する、スクロール操作。
- 倍率を変更するピンチイン/ピンチアウト※操作。

※ピンチイン/ピンチアウト

次の図のように、2本指を同時に画面に置き、指の間隔を広げると画面の映像の倍率が上がり、指の間隔を狭めると倍率が下がります。



コメントの追加 [Esr2]:

コメントの追加 [Esr3]:

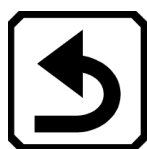
## メニュー操作



画面をタッチすると表示されるメインメニューアイコン(上図)をタップするとメニューが開きます。



前のメニュー画面に戻る場合は、下図の戻るアイコンをタップします。



緑色のライブビューボタンを押すと、メニューを終了してライブビュー画面に戻ります。

## タッチバイブレーション



操作時のバイブレーション オン/オフを設定できます。

タッチバイブレーションのオン/オフ:

1. 画面上のアイコンを表示させ、  
メインメニュー>設定メニュー>システム設定 に進みます。
2. 上の図のバイブアイコンをタップすると、オン/オフが切り替わります。  
(オン-斜線なし オフ-斜線あり)

## デフォルトモードと詳細モード



出荷時の設定では、本体はデフォルトモードに設定されています。デフォルトモードは、簡単にご利用いただける基本機能のみが使用できるモードです。詳細モードに変更すると、詳細モードのみでご利用いただける機能が追加されます。

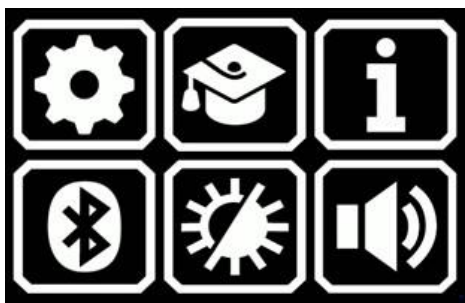
詳細モードに変更するには、画面をタップし画面上のボタンを表示させ、メインメニュー>詳細モードに進みます。

### デフォルトモード

デフォルトモードでは、以下の機能がご利用いただけません：

- ファイルの保存
- キャプチャ、または、複数ページのドキュメントの更新
- Miracast経由の接続
- ファイル管理
  - ドキュメントのインポート/エクスポート
  - テキストファイルの作成
  - デバイスストレージの管理

## デフォルトモードのメインメニュー



デフォルトモードでは、メインメニューに6個の機能アイコンが表示されます。



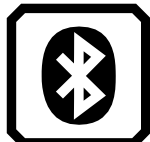
設定メニューを表示します。



デフォルトモードから詳細モードに変更します。操作は複雑になりますが、複数ページスキャン、ファイル管理、Miracastなどの機能が使用できるようになります。



お使いの本体のソフトウェアバージョン、シリアル番号、技術サポート窓口の情報が表示されます。



無線接続を使用し、Bluetooth接続をご利用いただけます。



視覚的設定を変更し、画面の映像を見やすくできます。



音の設定を変更しボリュームの上げ下げ、読み上げの速さを設定します。



## デフォルトモード ライブビュー時のアイコン

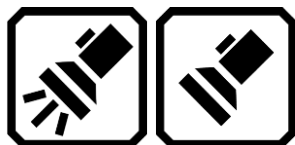
ライブビューの状態では画面をタップすると機能を実行するためのアイコンが表示されます。無操作が10秒間続くと、アイコンは非表示になりますが、タップすると再度表示されます。

### 遠方用カメラ

デフォルトモードで遠方用カメラを使用中に画面をタップすると、次のアイコンが表示されます:メインメニュー、ライトオン/オフ、フォーカスロックオン/オフ



メインメニューを表示します。



必要に応じてライトのオン/オフを切り替えます。



フォーカスを現在の位置で固定または解除します。画面上のアイコンは、現在の状態を表します。



遠方用カメラをデフォルトモードで使用した際の  
メニュー画面表示例

## フルページカメラ

フルページカメラを使用中にデフォルトモードで画面をタップすると、次のアイコンが表示されます:メインメニュー、ライトオン/オフ、フォーカスロックオン/オフ、ポジショニング



メインメニューを表示します。

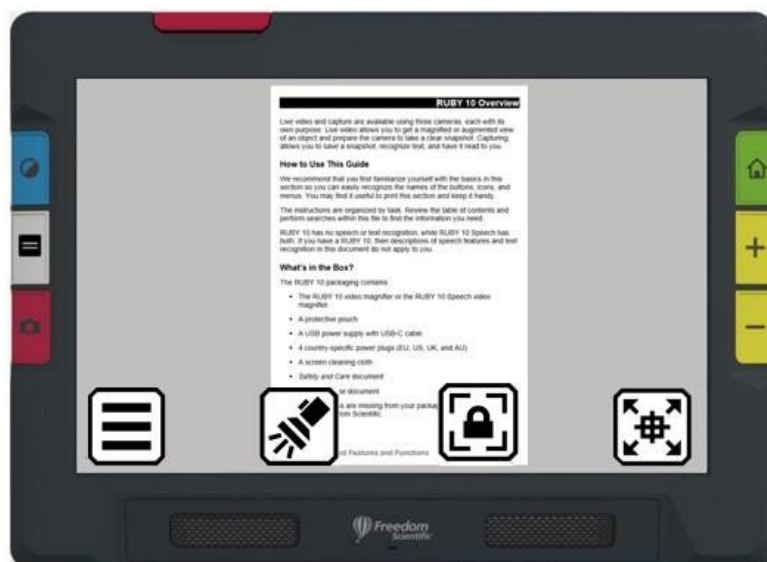
ライトのオン/オフ切り替えます。



フォーカスを現在の位置で固定または解除します。画面上のアイコンは、現在の状態を表します。



長押ししている間、ズームアウトしながら画面中央に十字を表示し、カメラの下にある対象物の位置を調整しやすくします。離すと元の倍率に戻ります。



フルページカメラをデフォルトモードで使した際の  
メニュー画面表示例

## 拡大用カメラ

拡大用カメラを使用中にデフォルトモードで画面をタップすると、メインメニューアイコンが表示されます。



メインメニューを表示します。

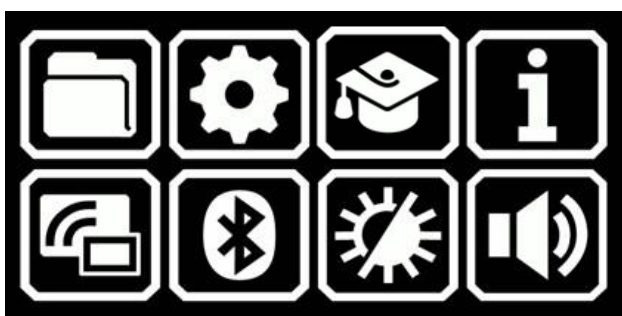


拡大用カメラをデフォルトモードで使した際の  
メニュー画面表示例

## 詳細モード

詳細モードでは、ルビー10のすべての機能を使用できます。 カラーモードの変更だけでなく、映像の影、エッジ、コントラスト、 明るさなど、ご自身の見え方に合わせた設定も変更可能です。 ボタン/アイコン操作やメインメニューから各種設定を行ってください。

### 詳細モードのメインメニュー



以下の機能を使用するにはメインメニューを開き、使用したい機能のアイコンをタップしてください



文書と画像を管理します。



イメージ、文書、読み上げ、メニュー/音声言語、システム設定などの設定を変更する。設定メニューを開きます。



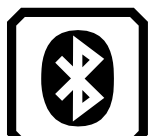
詳細モードからデフォルトモードに変更します。シンプルに使用できるようになりますが、デフォルトモードでは、ファイルの保存、テキスト認識、複数ページ文書の作成、Miracast接続機能が使用できなくなります。



本体の情報を表示します。ソフトウェアバージョン、シリアル番号、サポートの連絡先など。



ルビー 10を、Miracast無線接続を使用して別のデバイスと接続します。



ルビー 10を、Bluetooth無線接続を使用して別のデバイスと接続します。



視覚効果設定を変更し、画面の映像を見やすく設定します。



音設定を変更します。システム音量、読み上げ速度を設定します。

### 詳細モード ライブビュー時のアイコン

ライブビューの状態では画面をタップすると機能を実行するためのアイコンが表示されます。

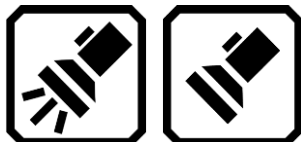
無操作が10秒間続くと、アイコンは非表示になりますが、タップすると再度表示されます。

### 遠方用カメラ

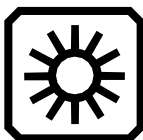
遠方用カメラを使用中(スタンド、または、カメラアームが閉じた状態)に詳細モードでライブビュー画面をタップすると、次のアイコンが表示されます。



メインメニュー  
メインメニューを表示します。



ライト  
必要に応じてライトのオン/オフを切り替えられます。



明るさ  
画面左端に表示されるスライダーを動かし、画面を明るくしたり暗くしたりできます。



エッジ効果  
エッジを滑らかに強調して表示させます。無効になっている場合、アイコンに斜線が表示されます。



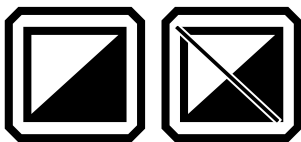
エッジを滑らかに表示します。ハイコントラスト色の組み合わせ時のみ適用可能です。



エッジのみ表示します。ハイコントラスト色の組み合わせ時のみ適用可能です。



フォーカスを現在の位置で固定または解除します。画面上のアイコンは、現在の状態を表します。



ダイナミックコントラスト  
映像のコントラストをダイナミックに調整します。無効になっている場合、アイコンに斜線が表示されます。



拡大用カメラを詳細モードで使用した際の  
メニュー画面表示例

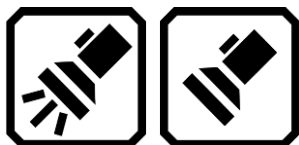


## フルページカメラ

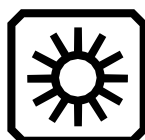
フルページカメラを使用中(スタンド、または、カメラアームが開いた状態)に詳細モードでライブビュー画面をタップすると、次のアイコンが表示されます。



メインメニュー  
メインメニューを表示します。



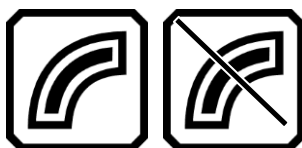
ライト  
必要に応じてライトのオン/オフを切り替えられます。



明るさ  
画面左端に表示されるスライダーを動かし、画面を明るくしたり暗くしたりできます。



ファインド  
長押ししている間、ズームアウトしながら画面中央に十字を表示し、カメラの下にある対象物の位置を調整しやすくします。離すと元の倍率に戻ります。



エッジ効果  
エッジを滑らかに強調して表示させます。無効になっている場合、アイコンに斜線が表示されます。



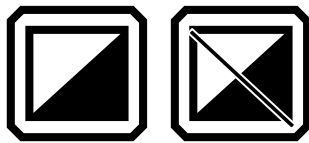
エッジを滑らかに表示します。ハイコントラスト色の組み合わせ時のみ適用可能です。



エッジのみ表示します。ハイコントラスト色の組み合わせ時のみ適用可能です。



フォーカスを現在の位置で固定または解除します。画面上のアイコンは、現在の状態を表します。



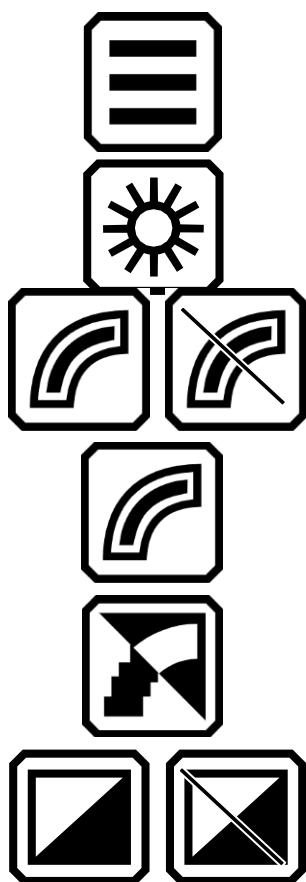
映像のコントラストをダイナミックに調整します。無効になっている場合、アイコンに斜線が表示されます。



フルページカメラを詳細モードでを使用した際の  
メニュー画面表示例

## 拡大用カメラ

拡大用カメラを使用中(スタンドのみ開いた状態)に詳細モードでライブビュー画面をタップすると、次のアイコンが表示されます。



メインメニュー  
メインメニューを表示します。

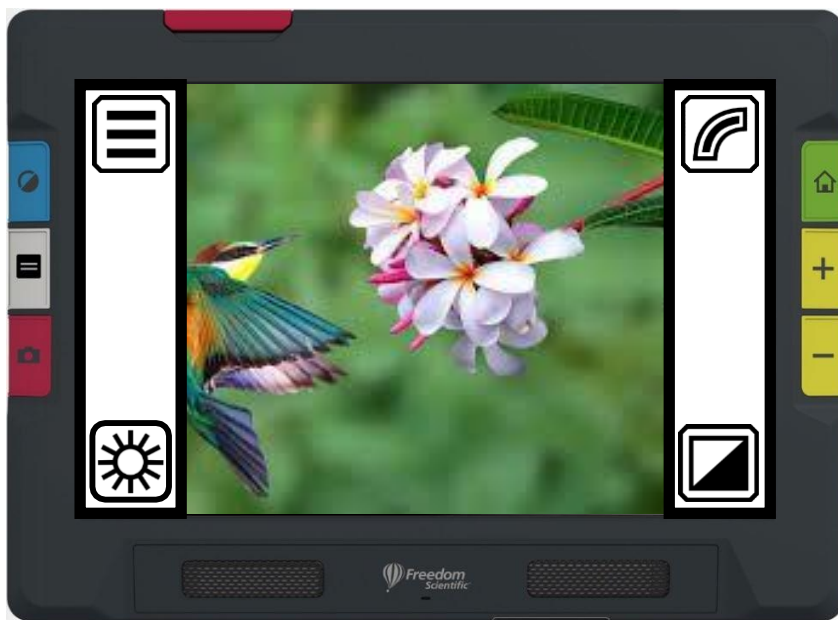
明るさ  
画面左端に表示されるスライダーを動かし、画面を明るくしたり暗くしたりできます。

エッジ効果  
エッジを滑らかに強調して表示させます。無効になっている場合、アイコンに斜線が表示されます。

エッジのみ表示します。  
ハイコントラスト色の組み合わせ時のみ適用可能です。

エッジを滑らかに表示します。ハイコントラスト色の組み合わせ時のみ適用可能です。

映像のコントラストをダイナミックに調整します。無効になっている場合、アイコンに斜線が表示されます。



拡大用カメラを詳細モードで使った際の  
メニュー画面表示例

## カメラ

カメラを使用すると、ライブビューで対象物を表示したり、スナップショットを撮ったり、画像を強調したり、保存したりできます。ルビー 10には3つのカメラが搭載されており、それぞれ用途が異なります。一度に使用できるカメラは1つのみです。カメラが起動した際、各カメラ専用のライトが点灯します。

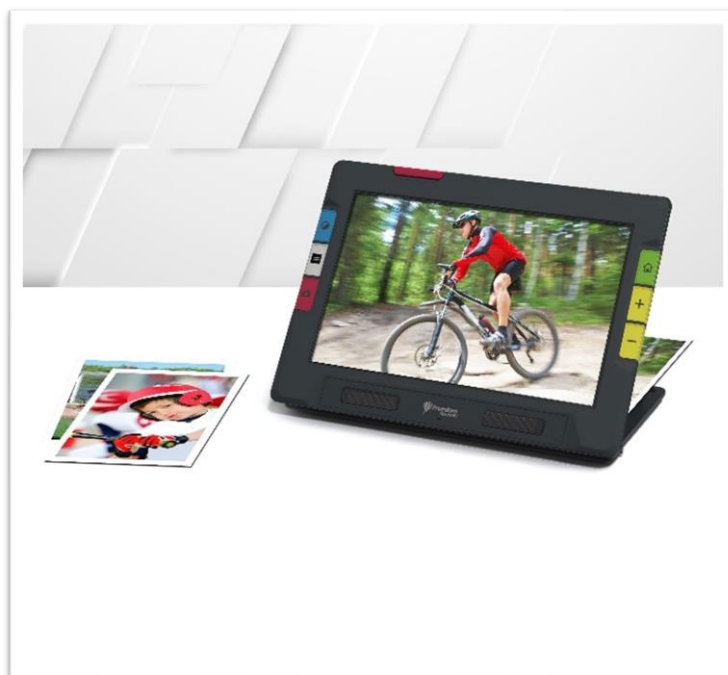
使用するカメラは、スタンドとカメラアームを開く/たたむ操作によって切り替わります。すべてのカメラは、デフォルトモード・詳細モードの両方で使用できます。

次の表では各カメラについて説明します。

カメラの種類/ 倍率	カメラの位置	カメラの起動	用途
拡大カメラ 2倍～24倍	背面中央 (スタンドを 閉じた状態 では隠れます)	カメラアームが 閉じた状態で、 スタンドを開く	机やテーブルでの 読み物 本体の下に対象の 文書を置いて下さい
遠方用カメラ 1.8倍～22倍	背面中央	スタンド/カメラ アームを閉じる	身の回りを確認 したい際
フルページ カメラ 0.4倍～13倍	カメラアームの先端	スタンドを開 き、カメラアームを完全に開く	A4用紙の文書の読み上げ・キャプチャ、手書き時の手元確認、写真確認など

最小倍率から最大倍率まで切り替えるには、どのカメラでも5秒程度かかります。全カメラにおいてフルカラー、ハイコントラスト、グレースケール表示が可能です。

## 拡大用カメラ



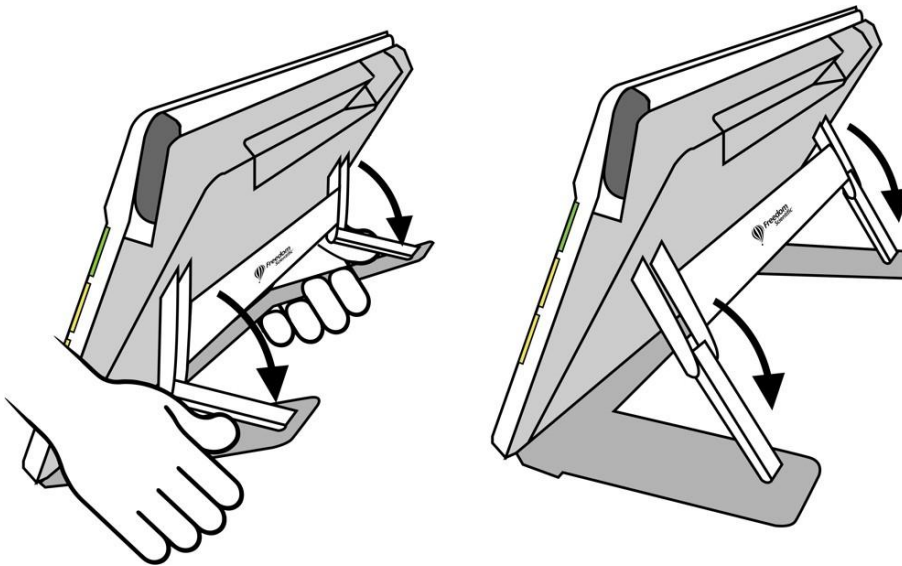
拡大用カメラは机やテーブル上で何かを読む際に使用します。スタンドを開き、カメラアームを閉じた状態で本体を対象の上に置いて下さい。拡大カメラの使用時は、本体の影が対象にかかってしまうため、ライトが常時点灯します。

拡大用カメラを使用するには：

1. スタンドを開きます。

スタンドの開き方

- a. 本体の下端が机の面と接するように持ちます。
- b. 本体背面のスタンドを掴み、カチッと音がするまで開きます。
- c. スタンドを使用して、本体を机の上で立たせます。



2. 拡大したい対象が画面の中央に表示されるよう、本体の下に置きます。
3. 必要に応じて、黄色の「ズームイン/アウト」ボタンや青色の「カラーモード」ボタンを使用し、倍率、カラーモードを変更してください。
4. 赤い「キャプチャ」ボタンを押すと、画面をキャプチャします。緑色の「ライブビュー」ボタンを押すと、ライブビューに戻ります。

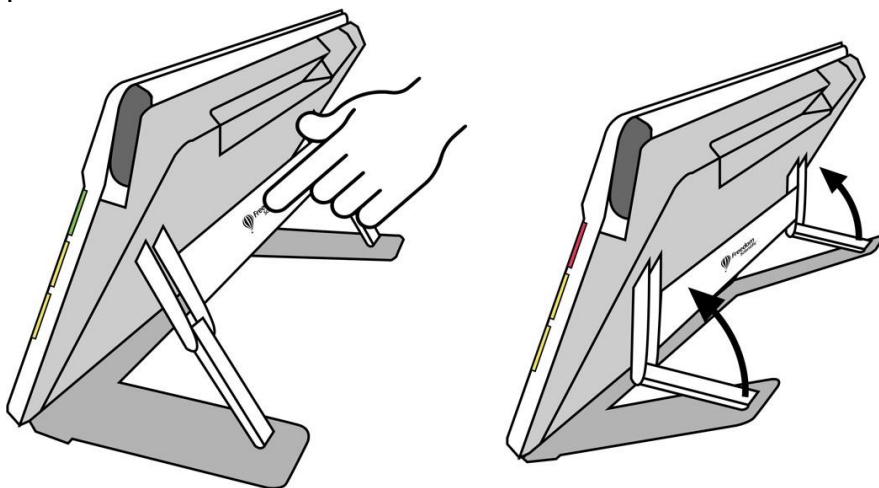
### 遠方用カメラ

遠方用カメラは、周囲にある物を確認するのに便利なカメラです。買い物中に値札やレシートなどの確認や、お仕事では名刺の確認など、用途は様々です。少し離れた距離の物も拡大できるので、壁に貼ってあるポスターなどを確認することも可能です。



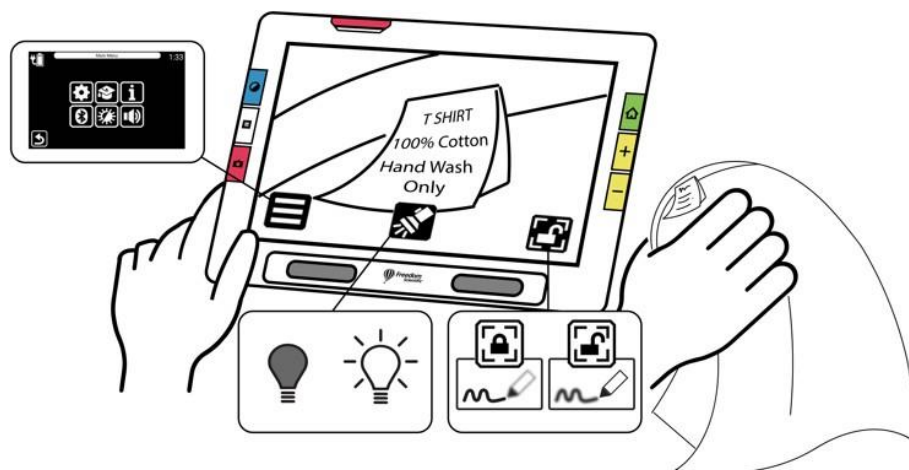
遠保用カメラを使用するには:

1. スタンドが開いている場合、本体背面のスタンドに記載されたFreedom Scientificのロゴ部分を押ししてスタンドを閉じてください。





2. カメラアームが開いている場合、本体上部にカチッとハマるように格納してください。
3. 拡大したい対象にカメラを向けてください。
4. 必要に応じて、黄色のズームイン/アウトボタン・青色のカラーモードボタンを使用し、倍率、カラーモードを変更してください。
5. 画面をタップすると、画面の下部にアイコンが表示されます。メインメニュー、ライトのオン/オフ、フォーカスロックの有効/無効アイコンが表示されるので、必要に応じて各機能をご利用いただけます。
6. 赤いキャプチャボタンを押すと、画面をキャプチャします。緑色のライブビューボタンを押すと、ライブビューに戻ります。



## フルページカメラ



カメラアームを完全に開くと、先端のカメラを使用し、A4サイズ用紙の印刷物の確認読み上げを行いやすくなります。手元を映せるので、手書きで何かを書く際や、趣味などにご利用いただけます。

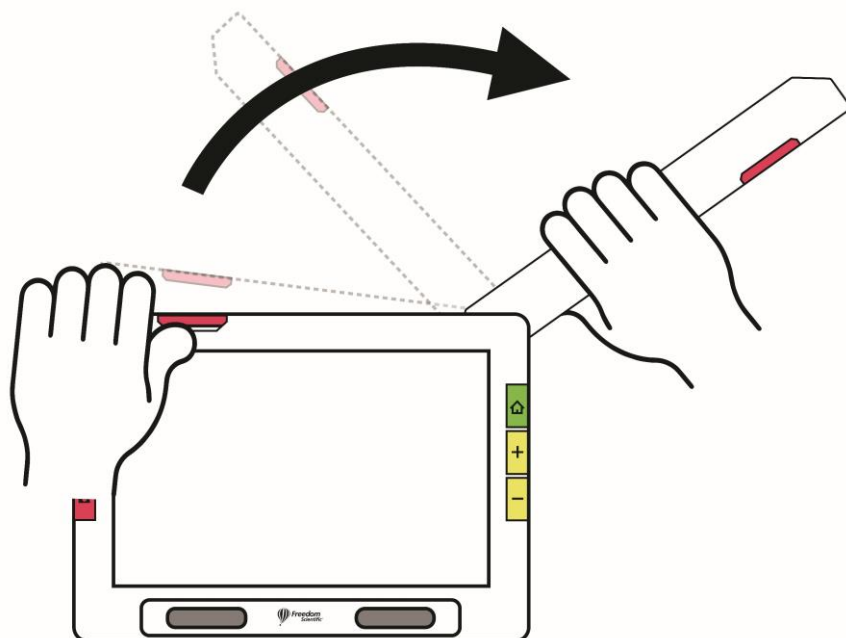
フルページカメラを使用するには:

1. スタンドを開きます。
2. カメラアームを開きます。

#### カメラアームの開き方

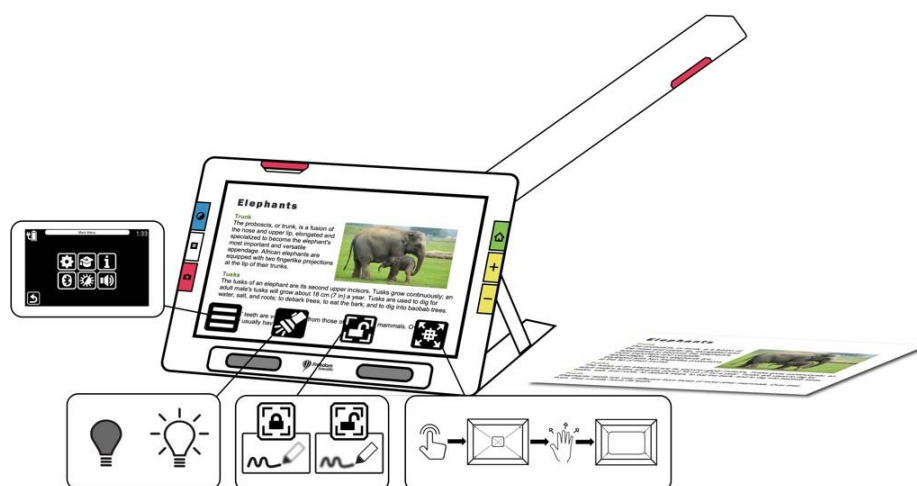
- a. 本体上部の赤いタブを摘み、上に押し上げます。
  - b. カメラアームを掴み、右側に開きます。
  - c. 完全にアームを開き、カチッと音がしたことを確認してください。
- ※フルページカメラは、完全にアームが開いていないと使用できません。

3. 対象の文書を本体の右側、フルページカメラの下に置きます。



4. 対象を動かし、画面上のグレーの枠の中に納まるようにしてください。  
立体物を見る場合や、文書を書く場合の手元などを拡大する際にも便利です。

5. 必要に応じて、黄色のズームイン/アウトボタン・青色のカラーモードボタンを使用し、倍率、カラーモードを変更してください
6. 画面をタップすると、画面の下部にアイコンが表示されます。メインメニュー、ライトのオン/オフ、フォーカスロックの有効/無効、十字アイコンが表示されるので、必要に応じて各機能をご利用いただけます。



7. キャプチャボタン(赤)を1秒程長押しすると(静止画より長い程度)、テキストの認識と読み上げを開始します。

## テキスト認識/読み上げ

読み上げさせたい対象の文書を、本体の右横に置き、画面のグレーの枠の中に納まるように置きます。赤いキャプチャボタンを1秒程長押しするとテキストの認識と読み上げを開始します。

**ヒント:** 読み上げが開始されない場合は、音量の大きさを確認、または、読み上げ言語が正しく選択されているかご確認ください。テキスト認識がうまくいかない場合は、文書の位置の変更や、周囲が暗くないか確認してください。エッジ効果を使用して明るさを調整することも可能です。

## 手書き

用紙を本体の右側に置き、手元を画面に映しながら書くことができます。オートフォーカスによってご自身の手に焦点が合ってしまう場合があるので、書き始める前に、用紙に焦点が合った状態でフォーカスロック機能を使用して用紙に焦点を合わせてください。



次のフォーカスロックアイコンをタップすると、フォーカスロックの有効/無効を切り替えられます。



フォーカスロック有効



フォーカスロック無効

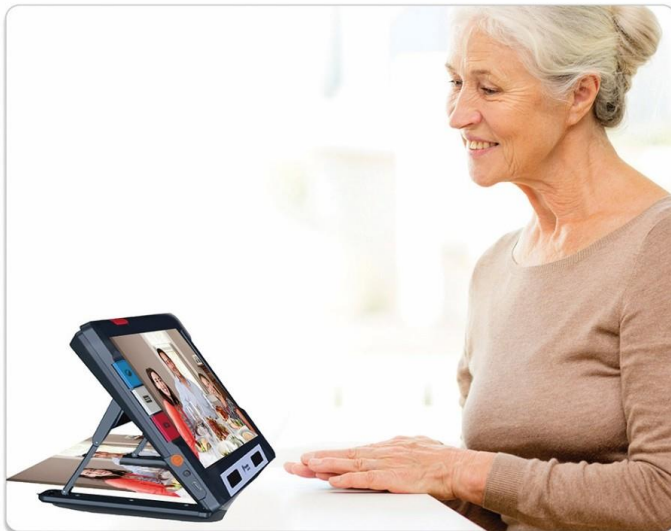
趣味など様々な用途に使用可能です。

## ライブビュー

デフォルトで表示されるカメラの映像がライブビューです。ライブビューでは、倍率やカラーモードなどの設定を変更できます。キャプチャする際にも設定を変更してご利用ください。緑のライブビューボタンを押すと、ライブビュー設定になります。

### ライブビュー時の倍率変更

本体右側の2つの黄色いズームインボタン(+)/ズームアウトボタン(-)を押すと、それぞれのボタンを押す長さに比例して、倍率を変更できます。倍率の変更は、ライブビュー、キャプチャ画像、保存した画像で可能です。



スタンドが開いた状態で、カメラは自動的に映像を安定させます。画面上で、動きが検出されない場合は、画像がフリーズし、読みやすくなります。

## カラーモード

本体左側にある青いカラーモードボタンを押すと、通常、グレースケール、および選択した色の組み合わせを切り替えられます。カラーモードは、ライブビュー中または保存した画像に適用できます。

## タップ-フォーカスを合わせる・アイコンの表示/非表示

どのカメラモードでも、画面をタップするとオートフォーカスして画面の一部にフォーカスを合わせることができます。フォーカスロック中でもこの機能は使用できます。また、画面をタップすると、アイコンの表示/非表示を切り替えられます。

## フォーカスロック

フォーカスロックアイコンは、遠方用カメラとフルページカメラを使用している場合に使用できます。このアイコンをタップすると、フォーカスが現在の位置にロックされ、もう一度タップするとロックが解除されます。

## ライト

カメラの使用時は自動的にライトが点灯します。ライトアイコンをタップすると、ライトをオフまたはオンにすることができます。このボタンを使用できるかどうかは、使用するモードとカメラによって異なります。

ライトオフ時



ライトオン時



ライトがオンになると、徐々に明るくなります。目への刺激を抑えるため、明るさが最大になるまで5秒程かかります。本体の発熱防止を目的として、ライトに供給される電力は、本体の温度によって変化します。

## ラインとマスク

灰色のテキストモードボタンを押すと、ライン表示とマスク表示を切り替えられます。どちらも画面上で現在の表示位置を確認するための機能です。ラインの位置、マスクの幅は画面をドラッグして調整してください。テキストモードボタンを短押しすると通常のビューに戻ります。

## スナップショット

赤いキャプチャボタンを短押しすると、表示している映像をスナップショットとして静止できます。緑色のライブビューボタンを押すと、ライブビューに戻ります。

この機能を利用すれば、買い物中など、商品棚の上の方の商品をスナップショットで確認することも可能です。

必要に応じて、黄色のズームイン/ズームアウトボタンで倍率を変更できます。

青いカラーモードボタンを押すと、スナップショットを他のカラーモードで表示させることができます。

その他表示方法の細かい設定については次の章をご覧ください。



## 色、コントラスト、鮮明さ

ルビー10は画像やテキストを見やすく表示する機能を備えています。画像やテキストの表示を変更する機能は以下のとおりです。

- カラーモードの変更
- 色覚フィルター(1型2色覚、2型2色覚、3型2色覚)
- エッジの強調、スムージング、エッジのみのモード
- コントラスト設定

画面上のボタンをタップすることで切り替えることができる機能もあれば、メニューから設定が必要な機能もあります。メニューからの設定は、画像やテキスト表示方法の初期設定を決定するためにも使用されます。

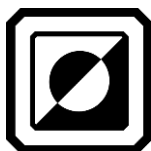
画面表示メニューでは、ルビー 10がメニュー、画像、およびテキストを表示する方法を変更します。ルビー 10の画面表示方法を変更するには、画面をタップしてアイコンを表示し、**メインメニュー>設定メニュー>画面表示メニュー**に移動します。



画面表示メニューにある4つのアイコンをタップすると、テキストと画像の表示を変更するための設定画面を表示します。



表示モードでは、テキストの表示方法のデフォルトを変更できます。この画面の詳細については、表示モードを参照してください。



色の組み合わせでは、カラーモードボタン(青色)を押したときに、選択できる色の組み合わせを設定できます。「テキスト」ではメニューやテキストを表示する際の組み合わせを、「画像」では画像表示時の色の組み合わせを決定できます。テキストでは「フルカラー」と「グレースケール」は選択できません。メニューを表示するためのデフォルトは黒地に白文字ですが、自身の見やすい色の組み合わせを追加して色を変更できます。詳細については、色の組み合わせを参照してください。



視覚設定には、光感受性フィルター(デフォルトで有効)と色覚フィルター(デフォルトではフィルターなし)があります。



フォントサイズでは、テキストの表示に使用する文字のサイズを変更できます。初期設定では28ポイントに設定されていますが、自分が使いやすいサイズに変更することができます。

## 色の組み合わせ



カラーモードボタン(青)で利用できる2つの色の組み合わせのセットを設定できます。1つのセットはテキスト用で、もう1つのセットは画像用です。

テキスト表示中の「色の組み合わせ」

- メニュー、画面、ボタン、ヘルプテキストなどのシステムインターフェイス。
- **詳細モードのみ:** ティッカーモード、プロンプタモード、インポートされたテキストファイル、またはテキストが認識されたファイルをスキャンしたときに作成されたテキストファイルを含むドキュメントビューの表示。

画像表示中の「色の組み合わせ」

ライブビュー、スナップショットビュー、ゾーンビューで表示する画像において、それぞれ色の組み合わせを切り替えて表示できます。画像表示中はフルカラーとグレースケールは必ず選択肢に含まれます。ハイコントラストは非表示に設定可能です。

- フルカラーは実物の色合い通りに表示します。オプションの効果を追加して、明るさ、色の表示方法を変更したり、コントラストと鮮明さを高めたりすることができます。ライブビューでは、カラーモードボタンを長押しすると、色の組み合わせがフルカラーに変わります。
- グレースケールでは、文書を黒、白、およびグレーの色合いで表示します。
- ハイコントラストは、背景と前景を区別し、画像の特徴を強調するために色を調整します。

色の組み合わせを追加する

色の組み合わせでは、カラーモードボタン(青)を押して選択可能な色の組み合わせが表示されます。初期設定はありますが、利用可能な色の組み合わせはご自身で設定可能です。

色の組み合わせには2つのタブがあります。テキストタブでは、ルビー 10 のメニューと文書(OCRを使用した保存済みファイルなど)を表示する際の色の組み合わせを設定します。画像タブでは、ライブビュー、スナップショット、保存済みキャプチャ、ゾーンを含む画像表示時の色の組み合わせを設定します。

これらの設定はいつでも変更できます。

色の組み合わせを追加する手順：

1. 画面をタップして、画面上のアイコンを表示します。
2. メインメニュー>設定メニュー>画面表示メニュー>色の組み合わせに移動します。
3. 画面左上の+アイコンをタップします。



4. 色の組み合わせを追加画面では、左側に「字の色リスト」右側に「背景の色」リストを表示します。リスト部分をタッチしてスクロールする事で色を指定できます。追加したい色の組み合わせを選択してください。選択すると画面上部に「サンプルテキスト」が表示されます。

参考：画面左側中央のアイコンをタップすると選択した色を反転します。

例)赤字-黒背景の状態でタップすると黒字-赤背景になります。

5. 色の組み合わせを選択した状態で+アイコンをタップすると選択した色の組み合わせを追加します。
6. 手順を繰り返して設定したい色の組み合わせを追加します。
7. 画面左下の戻るアイコンをタップすると、カラーモードに戻ります。色の組み合わせを確認して、必要な色の組み合わせがあることを確認します。
  - 色の組み合わせを削除するには、画面左側の上から2番目にあるゴミ箱アイコンをタップします。
  - 別の色の組み合わせを追加するには、手順3に戻ります。

8. 色の組み合わせの設定が完了したら、戻るアイコンをタップするか、ライブビューボタン(緑)を押します

**参考:** 色の組み合わせはたくさんあり、設定できる数に制限はありません。しかし登録した組み合わせが多すぎると使用したい色を選ぶために何度もカラーモードボタンを押す事になりますので注意してください。

## 視覚設定



ルビー 10は光感受性フィルターと3つの色覚フィルターを使用できます。これらの視覚的な表示設定を表示するには、画面をタップしてから、**メインメニュー>設定メニュー>画面表示メニュー>視覚設定**と進んでください。

光感受性フィルターと色覚フィルターを使用する事で視力障害の症状に合わせて、画像の表示を改善できます。

### 光感受性フィルター

光感受性フィルターの初期設定は「有効」です。有効の状態では色の明るさを抑えて、強い光が見つらいユーザでも見やすく表示します。例えば、白は薄い灰色で表示される場合があります。



<有効>

画面のスイッチ部分をタッチするとスイッチが左右にスライドします。左に切り替えると光感受性フィルターが無効になります。



<無効>

この設定は、表示画面の全体的な明るさを変更するのではなく、明るい色の表示方法を変更します。

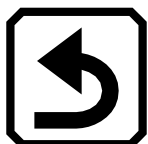
## 色覚フィルター

ルビー 10は、色のコントラストを改善するために3つの色覚フィルターを設定できます。例えば、あるフィルターは赤をピンクに変えます。これは、1型2色覚の影響を受けたユーザによく認識される色です。これらのフィルターはルビー10の全ての画像に適用されます。

色覚フィルターを有効にするには、現在の設定の右側にある編集アイコンをタップします。

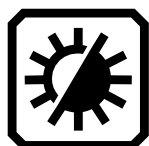


色覚フィルター画面が表示されたら、灰色の長方形に見えるオプションを選択します。灰色に見える長方形がない場合は、フィルターなしを選択します。4つのオプションのいずれかを選択したら、画面左下の戻るボタンをタップします。



色覚フィルターの設定は、選択したオプションを反映します。設定はすぐに適用されます。

## 視覚効果

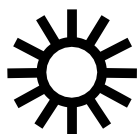


画像の表示方法を全体的に変更するには、画面をタップしてアイコンを表示し、メインメニュー> 視覚効果に移動します。

視覚効果画面では、コントラストの調整、エッジのハイライトと滑らかさ、画面の明るさの調整を行うことができます。視覚効果の設定で補える問題には、しわや黄ばみのある本のページ、影、インクのにじみ、本のしわなどがあります。

### 明るさ

画面左のスライダーを使用して、画面の明るさを調節します。スライダーを上動かすと、画面が明るくなります。

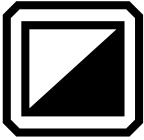


画面を暗くするには、スライダーを下に動かします。





## コントラスト



コントラストアイコンをタップすると機能が有効になり、アイコンの下にスライダーを表示します。コントラストは、ライブビュー、スナップショットビュー、画像ビュー、またはゾーンビューで調整できます。

**参考:** 画質は周囲の照明の状況や画面に映った文書によって大きく異なります。

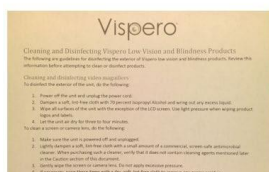
スライダーを上動かすと、フルカラーとグレースケールのコントラストが上がります。コントラストの高い色の場合は、スライダーを上動かすと、背景色が濃くなり、前景色が薄くなります。



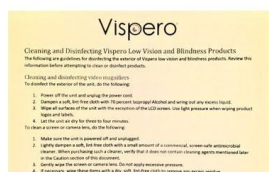
フルカラーとグレースケールのコントラストを下げるには、スライダーを下に動かします。コントラストの高い色の場合は、スライダーを下に動かすと、背景色が薄くなり、前景色が濃くなります。



## <コントラスト調整の例>



調整なし



フルカラーを  
強調



ハイコントラストを  
強調

ヒント: スライダーを調節して実際の色の違いを試しながら設定しましょう。

## エッジ効果

エッジ効果は、画像を表示するためのルビー10独自の機能です。エッジ効果アイコンをタップしてエッジ効果の種類を切り替え、対応するスライダーを使用して、画像内の文字や物体のエッジ(ふち)を調整します。

この機能は、ライブビュー、スナップショットビュー、画像ビュー、およびゾーンビューで使用できます。エッジ効果は全体の表示に適用され、カメラの向き(スタンドを閉じた状態、スタンドを立てた状態、フルページカメラ)ごとに設定を保存します。

エッジ効果アイコンをタップして、エッジ効果を切り替えます。

エッジ効果アイコンを長押しすると、スライダーを使用してエッジ効果設定を調整できるコントロールウィンドウに移動します。

### エッジハイライト

画像内のエッジを強調表示します。ハイコントラストカラー、フルカラー、グレースケールで利用できます。以下のサンプルを参照してください。

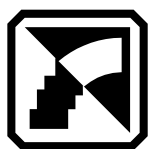


エッジハイライトによるハイコントラストカラー

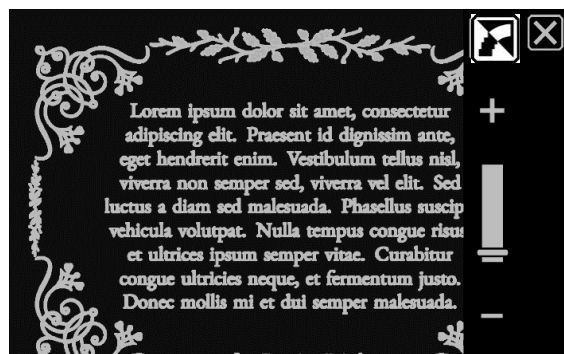


### エッジスムージング

画像内のエッジを滑らかにします。画像と同じ色で輪郭を強調します。ハイコントラストカラーでのみ使用できます。



エッジスムージングによるハイコントラストカラー

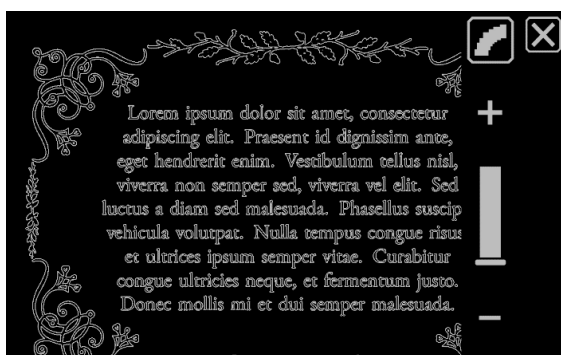


### エッジのみ

画像内のエッジのみを表示します。ハイコントラストカラーでのみ使用できます。



エッジのみのハイコントラストカラー

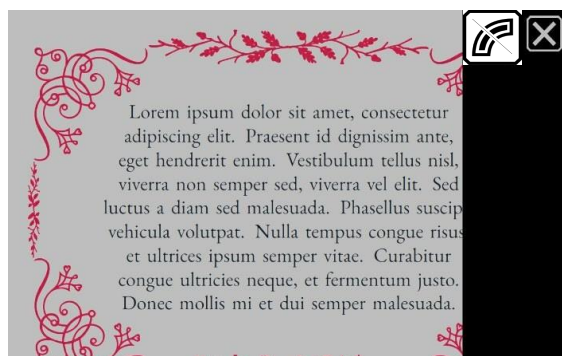


### エッジ効果なし

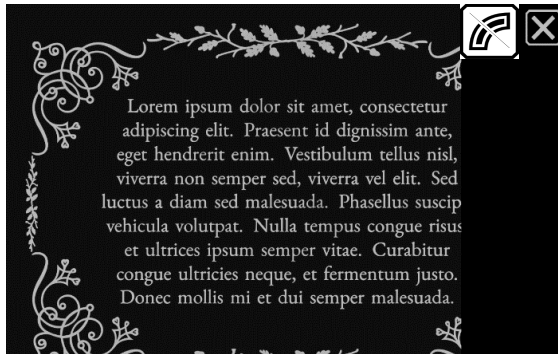
エッジ効果を適用しません。任意のカラーモードで利用できます。以下のサンプルを参照してください。



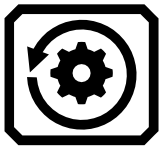
エッジ効果のないフルカラー



### エッジ効果のないハイコントラストカラー



### 設定のリセット



設定のリセットアイコンをタップすると、コントラストとエッジ効果の設定をリセットします。

## ファイルの保存とスキャン

ルビー10は、OCR(光学式文字認識)機能を搭載しています。ルビー10のカメラで撮影した印刷物の文字を認識し読み上げることができます。

OCR機能の使用中に、**保存アイコン**をタップするとファイルを保存することができます。



### ページのキャプチャ

ルビー10は、どのカメラモードでもOCR機能を使用できます。A4サイズの下紙に書かれたテキスト全体をキャプチャする際は、スタンドを開いてフルページカメラアームを使用すると便利です。ページが画面の中央にくるように、キャプチャする対象をフルページカメラアームの下に置きます。太字、斜体、および下線が認識されます。

フルカメラアームを使ったルビー10の操作については、36ページの「フルページカメラ」を参照してください。

キャプチャ後にファイルを保存するには、**保存アイコン**をタップします。

### 複数のページをキャプチャする

キャプチャボタン(赤)を約1秒間長押しすると、ページを保存しテキストを認識して、読み上げます。複数のページをキャプチャするとすべてのテキストが認識される前に読み始めることができます。

カメラはどのモードでもキャプチャできますが、印刷物をキャプチャする際はフルページカメラを使うと容易に文書全体を画面に収めることができます。

#### 複数のページをキャプチャする手順

1. スタンドを開きアームを伸ばしてフルページカメラを使用します。
2. ライブビューで、文書全体を画面に収めます。
3. キャプチャボタン(赤)を約1秒間長押し後に離すとキャプチャを開始します。撮影中は画面にカメラアイコンが表示されます。
4. キャプチャ完了後、**ページ追加アイコン**をタップすると次のページのキャプチャを実行できます。



5. 必要な枚数のキャプチャが完了するまで、ページの追加を続けてください。プレビューアイコンをタップして、キャプチャしたページを確認できます。スキャンに問題がある場合は、ページを削除して再スキャンできます。



6. ファイルを保存する場合は、**保存アイコン**をタップすると、文書を保存しますか？と表示されるので「はい」を選択します。



7. 続いてオーディオタグを録音しますか？と表示されます。「はい」をタップするとファイルの名前を音声で記録できます。詳細については、61ページの「オーディオタグの録音」を参照してください。

**ノート:** 後でファイルを探すときに内容がわかるように名前を付けて保存することをお勧めします。

#### タッチスクリーンを使用したナビゲーション

ページ下部まで画面をスクロールした状態で上から下にスワイプすると次のページへ移動します。ページ上部に画面をスクロールした状態で下から上にスワイプすると前のページへ移動します。

**コメントの追加 [Esr4]:** 追加する際は1ページが入る倍率じゃなくなる

**コメントの追加 [Esr5]:** 文書を保存しますか？ はいいいえが出て来たが、もう一度トライすると出てこない同じ操作をしていたつもりだが何か違いが・・・？

## ページ番号を使用したナビゲーション

ページ番号を指定して複数ページの文書内を移動することができます。ページ番号の表示部分をタップするとページリストを表示します。リストをスクロールして移動したいページ番号を表示し、次のいずれかのアイコンをタップしてください。



文書先頭: 文書先頭のページへ移動します。



前のページ: 表示中のページの1ページ前へ移動します。



表示された中で最も離れたページへ移動: 以前に表示した最も離れたページへ移動します。例えば、10ページの文書があり、最初の5ページまで表示していた場合は、5ページにジャンプします。



次のページ: 表示中のページの1ページ次へ移動します。

## ページ順序の変更

ページ入替アイコンを使用して、現在のページの位置を前のページと入れ替えることができます。



コメントの追加 [Esr6]: いつ出てくるのか分からない



## ファイルの保存

ファイルを保存するには、画面をタップしてアイコンを表示してから、保存アイコンをタップします

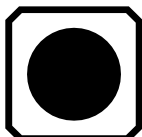


実行するとオーディオタグを追加するかどうかを尋ねられます。詳細については60ページの「オーディオタグの録音」を参照してください。

各テキストファイルは、現在選択されている読み上げ言語を使用して保存されます。保存したファイルを後で開くと、同じ言語と音声がファイルの読み取りに使用されます。ただし、言語は簡単に変更できます。詳細については、62ページ「読み上げ言語と音声」を参照してください。

また、カラーモードボタン(青)または+/- ボタン(黄)を押すか、画面上のアイコンをタップして、キャプチャの画面表示を変更することができます。詳細は、43ページの「色、コントラスト、鮮明さ」を参照してください。

## オーディオタグの録音



オーディオタグは、ルビー10に保存されたファイルを識別するのに役立ちます。オーディオタグは保存またはインポートするファイルに追加することができます。ただし、ルビー10からUSB-Cフラッシュドライブにエクスポートしたファイルやコンピュータにコピーされたファイルはオーディオタグを使用できません。オーディオタグはルビー10でのみ使用できます。キャプチャした画像やテキストファイルを保存するとき、または保存したファイルを後で開くときに、オーディオタグを追加できます。

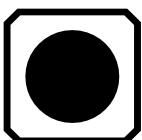
情報アイコンをタップするとファイルの詳細を表示してそのオーディオタグを再生できます。ファイルが表示され、その名前が画面の上部に表示されます。



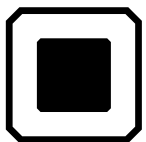
情報画面上部のファイル名のすぐ下にある録音アイコンを使用して、オーディオタグを変更できます。



**再生アイコン:**再生アイコンをタップするとオーディオタグを再生します。



**録音アイコン:**オーディオタグを追加または変更します。録音アイコンをタップすると録音を開始します。



**停止アイコン:**停止アイコンをタップすると録音を保存して終了します。



**削除アイコン:**削除アイコンをタップするとオーディオタグを削除します。削除する場合は「はい」をタップして削除を実行してください。

## 読み上げ言語と音声



ルビー10は設定された読み上げ言語と音声を使ってスキャンしたテキストを読み上げます。読みながら文書の段落と太字、斜体、下線付きのテキストを識別します。

読み上げ言語と音声を設定するには、画面をタップしてアイコンを表示します

画面上のアイコンをタップし、**メインメニュー>設定メニュー>言語メニュー>読み上げ言語の選択**に移動します。

一度に設定できる言語と音声は1つです。例えば、英語の文書を読ませたい場合は、読み上げ言語を英語に変更できます。日本語に戻りたいときは再度設定を戻してください。

以前にキャプチャしたテキストファイルを開く場合、キャプチャした時の設定で読み上げ言語と音声に登録されています。変更したい場合、**ファイル情報画面**から言語の横にある**編集アイコン**をタップしてください。



インポートしたテキストファイルを開くと、現在の読み上げ言語と音声設定が使用されます。この設定は後から変更できないため、**ファイルの情報画面**に読み上げ言語の**編集アイコン**は表示されません。

デフォルトの読み上げ言語と音声を変更しても、各ドキュメントファイルに保存されている言語と音声には影響しません。

## 表示モード



DOCXまたはPDFファイルを開く場合、または認識されたテキストでキャプチャされたファイルを開く場合、最初の表示モードはゾーンビューです。ゾーンを使用すると、テキストは強調表示された番号付きのボックスで区切られ、ドキュメント内を移動しやすくなります。

再生アイコンをタップすると、文書の先頭から読み上げを開始します。



ゾーンの枠を長押しすることで、読み始めたい場所を選択できます。このビューでは、キャプチャされた画像はフルカラーです。カラーモードを選択すると、ゾーンの強調表示と番号付けの色が変更されます。

## テキストモードボタン

文書読み上げ中に、テキストモードボタン(灰色)を押す事で表示モードを切り替えて、現在のテキストを読むための最良の方法を選択できます。最初の表示モードは、表示モード画面で選択されたデフォルトに従って設定されます。ここでは、デフォルトの強調表示と、線またはマスクのどちらを使用するかも設定します。

画像でテキストモードボタン(灰色)を押すたびにフルカラー画像、テキスト表示、テキストライン表示、マスク表示に切り替えます。

## 画面表示モード

認識されたテキストの表示方法を変更する手順:

1. 画面をタップして、アイコンを表示します。
2. メインメニュー> 設定メニュー> 画面表示メニュー>表示モードに移動します。
3. 右上のボタンを切り替えて、デフォルトの表示モードを選択します。表示モード画面には現在の表示モードのサンプルが表示されます。



スナップショットモード: ハイコントラストの色なしでテキストの画像が表示されます。



プロンプタモード: ハイコントラストの色を使用して段落形式でテキストが表示されます。

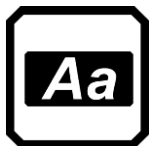


ティックカーテープモードでは、ハイコントラストの色を使用して、一度に1行のテキストが表示されます。

参考: ゾーンは[表示モード]画面では使用できず、デフォルトモードに選択することはできません。

コメントの追加 [Esr7]: アイコンは現在のモードが表示されるが、長押しした時の説明は次のモードの説明。ティックカーテープモードのアイコンが表示されているときはゾーンの説明が表示される」

4. 右下のボタンをタップして、読み上げ時にテキストを強調する方法を切り替えます。



ボックス強調

コメントの追加 [Esr8]: ハイライト? 長押しするとハイライトの表示



アンダーライン強調

コメントの追加 [Esr9]: 下線ハイライト? 長押しすると下線ハイライト

5. 選択すると、各デフォルトが自動的に設定されます。

## ファイル管理（詳細モードのみ）



詳細モードでは、ルビー 10のファイル管理を使用して、ファイルを表示、保存、削除、インポート、エクスポートできます。ファイルのオーディオタグを追加・再録音することもできます。

メインメニューで、**ファイル管理**アイコンをタップして**ファイル**画面を表示します。この画面では、ルビー10に保存されたファイルを一覧表示します。ファイルは**画像**と**文書**の2つのタブに分かれています。

データのアイコンはファイルタイプを表します。

画像ファイルはJPEG、BMP、WebP、PNGをサポートします。

文書ファイルはDOCX、PDF、RTF、TXTをサポートします。

複数ページのファイルはVCB(Vispero Compressed Book)というルビー10独自のファイル形式で画像やテキストで構成されます。

ファイルはキャプチャした日または変更した日の順に並べられ、最新のファ

イルが一番上に表示されます。  
ファイルタイプの下に表示されるシステムファイル名は変更できません。

## ファイルを開いて編集する



ファイルを開いたり編集したりするには、画面をタップしてアイコンを表示し、メインメニュー>ファイルに移動します。ファイル画面が表示されます。拡張子がBMP、JPEG、PNG、WebPのファイルは、画像タブに表示されます。



拡張子がDOCX、PDF、RTF、TXTのファイルは、文書タブに表示されます。複数ページのファイルには、VCB(Vispero Compressed Book)という拡張子が付きます。アイコンはファイルの種類を表します。ファイルを開く際はファイル画面でファイルを選択し、開くアイコンをタップします。

参考: 複数のファイルを同時に開くことはできません。

### 画像ファイルを編集する

画像ファイルの編集は情報アイコンから行います。ファイル画面で編集したい画像ファイルのアイコンをタップしてください。画面にアイコンが表示されますので、右下の情報アイコンをタップしてください。

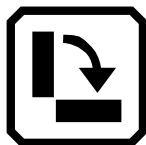


情報画面を開くと、選択した画像ファイルの映像とアイコンが表示されます。以下のアイコンを使って画像の向き等を変更できます。



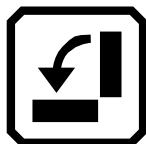
画像を左右に反転します。

コメントの追加 [Esr10]: 出てこない場合もある…?



画像を時計回りに90度回転させます。

コメントの追加 [Esr11]: 出てこない場合もある…?



画像を反時計回りに90度回転させます。

コメントの追加 [Esr12]: 出てこない場合もある…?

## 文書ファイルを編集する

ルビー10でキャプチャした文書を開くと、ファイル保存時に設定されている読み上げ言語と音声を使用して読み上げます。  
言語がデフォルトの読み上げ言語と同じであるが音声異なる場合は、デフォルトの音声を使用されます。言語は利用できるが音声利用できない場合は、使用できなかった設定に最も近いと考えられる音声を使用されます。

ファイルに保存されている言語と音声を変更するには、言語表示の横にある編集ボタンをタップします。



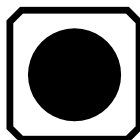
インポートしたテキストファイルを開くと、現在の読み上げ言語と音声を使用されます。変更することはできません。

## オーディオタグの録音と変更

オーディオタグを使用してファイルに音声で名前を付けた場合は、画面の上部にある再生アイコンをタップしてオーディオタグを聞くことができます。録音アイコンをタップするとオーディオタグの録音し直しが可能です。オーディオタグの詳細については、60ページの「オーディオタグの録音」を参照してください。



再生



録音

## ファイルのエクスポートとインポート

ファイル画面からファイルのエクスポートとインポートを行います。



上記の転送アイコンをタップすると転送モードの選択画面を表示します。

**エクスポート:**アイコンをタップするとルビー10に保存されている文書ファイルと画像ファイルを、ルビー10に挿入したUSB-Cドライブにコピーします。

ファイルを選択してから実行すると選択したファイルのみエクスポートし、ファイルを選択せずに実行すると全ての画像ファイルと文書ファイルをエクスポートします。



**インポート:**アイコンをタップするとルビー10に挿入したUSB-Cドライブのルート上に保存されているルビー10で使用可能なファイルを全てルビー10にコピーします。



## ファイルの保存可能容量と削除

### ファイルの保存可能容量

ルビー10の内蔵メモリには約4GBまでファイルの保存が可能です。ただし、OCRと音声に言語を追加すると、ストレージがさらに少なくなります。保存可能な容量が不足しないように注意してください。保存可能な容量が不足した場合は新しいファイルを保存するためにファイルを削除する必要があります。

コメントの追加 [Esr13]: 本体のデバイスストレージを確認すると4GB



保存可能容量はデバイスストレージで確認できます。  
画面をタップしてアイコンを表示し、メインメニュー>設定>システム設定>デバイスストレージに移動します。

### ファイルの削除



ルビー 10のメモリがいっぱいの場合、画像をキャプチャしようとする  
とエラーメッセージが表示されます。新しいファイルを保存する前  
に、いくつかのファイルを削除する必要があります。一度に1つのファ  
イルを削除することも、一度にすべてのファイルを削除することもで  
きます。

**参考:** 開いているファイルは削除できません。

ファイルを削除する前にバックアップする場合は、ファイルをUSB-Cドライブにエクスポートしてください。詳細は69ページの「ファイルのエクスポートとインポート」を参照してください。

1件ずつファイルを削除する場合は、**ファイル**画面に移動し、ファイルを表すアイコンを選択して、**削除**アイコンをタップします。

以下全てのファイルを削除する手順です。

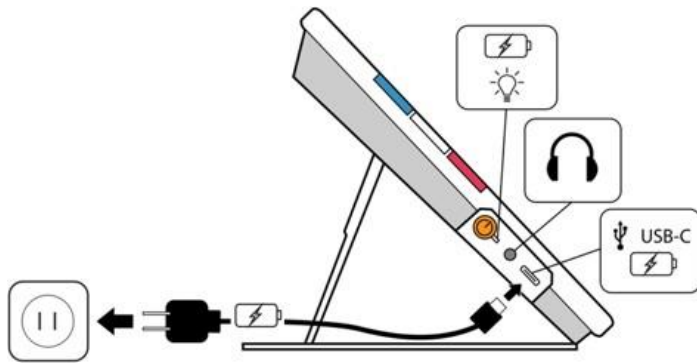
1. 画面をタップして、アイコンを表示します。
2. **メインメニュー>設定>システム設定>ストレージ**に移動します。
3. **すべてのファイルを削除** アイコンをタップします。

## ルビー10と外部デバイスの接続

ルビー10は、オーディオジャック、USB-Cポート、Miracast、Bluetoothを備えており、ヘッドホン、スピーカー、HDMI入力対応モニター、コンピュータなど、さまざまなデバイスと接続できます。

### オーディオジャック接続

ルビー10にはオーディオジャックがあり、ヘッドホンやスピーカーを接続できます。丸いジャックはオレンジ色の電源ボタンの右側にあります。



### USB-C ケーブル接続

ルビー10にはUSB-Cポートがあり、同梱のUSB-Cケーブルを以下の用途で使用できます。

- 本体の充電に使用します。
- 本体とコンピュータを接続してファイルを転送したり、ファームウェアの更新を実行したりします。

USB-C-HDMIケーブルを使用して、HDMI 入力対応モニターに接続しルビー10の画面をモニターに表示することができます。

## Miracastを使った映像出力（詳細モードのみ）



Miracast®を使用して、ルビー10の音声と映像をコンピュータ、テレビ、タブレットに表示できます。コンテンツはルビー10と他のデバイスに同時に表示されます。ルビー10は、ルビー10からデバイスへのWi-Fi Directをサポートします（その逆はできません）。

**参考：** Miracastの使用にBluetoothは必要ありません。

### Miracast対応ディスプレイへの接続

Miracast対応ディスプレイに接続すると、ルビー10はその音声と映像を接続したディスプレイにストリーミング表示します。ストリーミングする前に、ルビー10と受信デバイスの両方でMiracastを有効にする必要があります。

ルビー10でMiracastを有効にする手順：

1. 接続したいディスプレイのMiracastを有効にして、ルビー10を起動します。ディスプレイは、Wi-Fi Direct経由で接続する準備ができている必要があります。
2. ルビー10の画面をタップして、アイコンを表示します。
3. メインメニュー> **Miracast**に移動します。



4. **Miracast**画面で、チェックマークをタップしてMiracastを有効にします。



- ルビー10はデバイスを自動的にスキャンし、**Miracast**画面に一覧表示します。ルビー10の画面を表示したいデバイスの名前を選択し、プラス記号をタップします。



ルビー10がデバイスに正常に接続したかどうかを示すメッセージが表示されます。接続に成功すると、ルビー10はその画面情報をミラーリングして接続したディスプレイにストリーミングします。

- コンテンツのストリーミングが終了したら、**Miracast**画面に戻り、無効にするアイコンをタップします。



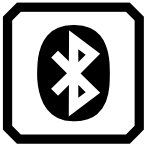
#### **Miracast接続のステータス**

各デバイスの名前の括弧内の単語は、そのステータスを示します。

- 「接続済み」とは、デバイスがルビー10にアクティブに接続されていることを意味します。
- 接続されていないデバイスの名前の横に「新規」が表示されます。



## Bluetooth 無線接続



Bluetooth® 接続を使用し、ルビー 10をヘッドホンやスピーカーなどのオーディオ機器と接続できます。

### Bluetooth を使用した接続

接続できる機器は一度に一台までです。

接続方法:

1. メインメニューの**Bluetooth**アイコンをタップし、**Bluetooth**画面を表示します。チェックアイコンをタップし、Bluetoothを有効にします。



2. ルビー 10は自動的にBluetoothデバイスの検索を開始し、画面上に表示します。デバイス名の右横に (New) と表示されているデバイスが、ペアリングしていないデバイスを表します。接続したいオーディオデバイスのBluetoothを有効にします。
3. 接続したいデバイスを選択し、プラスアイコンをタップします。接続を開始すると、プラスアイコンが表示されなくなります。



ノート: キーボード、マウス、マイクの接続には対応していません。

4. 終了する場合は、**Bluetooth**画面に戻り、**無効**ボタンをタップします。



#### **Bluetoothを再度有効にした場合**

Bluetoothを再度有効にした場合、ルビー 10はペアリング済みのデバイスと自動接続します。自動接続させたくない場合、デバイス名を選択し、**削除**アイコンをタップしてください。ルビー 10は、そのデバイスとの接続を解除し、接続情報を消去します。そのデバイス名は表示されなくなります。

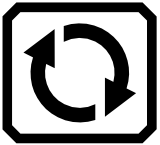


#### **Bluetoothの接続状態**

デバイス名横の()内に接続状態が表示されます：

- (ペアリング済)- 以前ペアリングしたことのあるデバイスを指します。
- (接続済)- 現在接続中のデバイスを指します。
- (New)- ペアリングしたことのないデバイスを指します。

## ルビー10のアップデート



有限会社エクストラのウェブサイトから新しいリリースをダウンロードして本体をアップデートできます。デバイスのアップデート画面から、USB-Cフラッシュメモリ、または、USB-Cケーブルでコンピュータと接続してアップデートを行ってください。下記の必要事項、アップデート手順をご確認ください。

ノート: ルビー10本体のデータ保存可能容量が少ないため、USB-Cドライブでのアップデートをお勧めします。

### 必要事項

アップデートを行う前に以下の点をご確認ください:

- VHU (Vispero Hardware Update) の拡張子が付いたリリースファイルをダウンロードしていること。VHUファイルを使用して、ルビー 10 のソフトウェア/ファームウェアをアップデートできます。
- ルビー 10 に同梱されている USB ケーブル、または、USB-C フラッシュメモリ (FAT32 フォーマット済) があること。フラッシュメモリ推奨。

ヒント: フラッシュメモリは、ルビー 10 上でファイルをインポート/エクスポートする際や技術サポートを受ける際のログファイルのダウンロードなどにも使用できます。USB-C と USB-A 両方のポートで使用可能なデュアルタイプのフラッシュメモリを推奨します。また、USB-A のフラッシュメモリに USB-C 変換アダプタを取り付けて使用することも可能です。

- 本体に十分な空き容量が残っていること。空き容量を確認するには、画面をタップして表示されるアイコンから **メインメニュー > 設定システム設定 > ストレージ** へ進んでください。空き容量を確保するためには、VHU ファイルと合わせてウェブサイト上で公開されている資料をご確認下さい。USB-C ケーブルではなく USB-C フラッシュメモリを使用すると、本体の空き容量を使用する必要がなくなります。

- 本体のバッテリー残量が60%以上あること。メニュー画面左上のバッテリーアイコンでご確認いただけます。



**ノート:** デバイスは、満充電になるとオレンジ色の電源ボタンのLEDライトが緑になります。バッテリーアイコンは、残りバッテリー残量を表し、1目盛20%分のバッテリー残量を表します。

## USB-Cフラッシュメモリを使用したルビー 10のアップデート

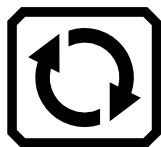
本体の空容量を考慮し、この方法でのアップデートを推奨しています。

USB-Cフラッシュメモリを使用したアップデート方法:

1. 有限会社エクストラのウェブサイトから、拡張子がVHUのルビー 10のリリースファイルをダウンロードします。
2. VHUファイルをUSB-Cフラッシュメモリにコピーします。
3. VHUファイルを保存したUSB-Cフラッシュメモリをルビー 10のUSBポートに挿入します。

**注意:** アップデート完了のメッセージの表示/本体が完全に再起動するまでは、絶対にフラッシュメモリを抜かないでください。

4. ルビー 10の画面をタップしてアイコンが表示されたら、次の画面に進みます。  
メインメニュー > 設定メニュー > システム設定 > デバイスのアップデート



5. ファイルを選択し、アップデートを押します。

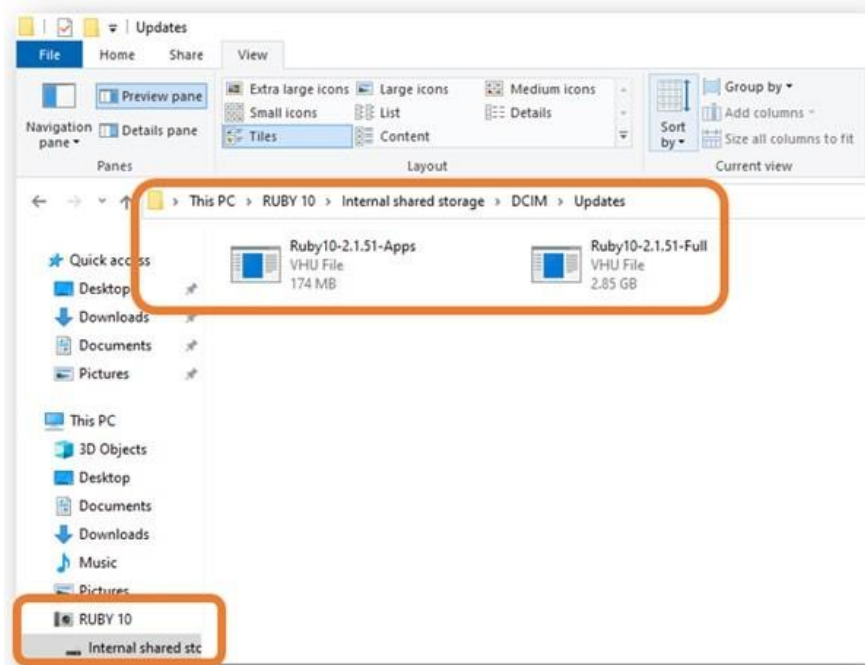
**ヒント:**ファイルが表示されない場合は、USB-Cフラッシュメモリを抜き、向きを逆にして再度ポートへ差してお試しください。

6. アップデート完了後、確認のメッセージが表示されます。**OK**をタップすると、自動的に本体が再起動します。

### USB-Cケーブルを使用したアップデート

USBケーブルを使用して本体をアップデートするには:

1. Freedom Scientificのウェブサイトから、拡張子がVHUのルビー 10のリリースファイルをダウンロードします。
2. USBケーブルのC端子を本体に差します。ファイル管理が自動的にリリースファイルを検知します。
3. Windows のファイル管理を使用し、VHUファイルをルビー10の **DCIM/Updates** フォルダにコピーします。コピーを開始すると、ルビー10上で自動的にデバイスのアップデート画面が開きますが、ファイルのコピーが100%完了するまで、開始しないでください。ファイルの転送画面から転送の進捗を確認してください。



4. ファイルを選択し、アップデートを押します。
5. アップデートが無事完了すると、確認のメッセージが表示されます。**OK**をタップすると、自動的にシステムが再起動します。アップデートに使用したVHUファイルは、自動的にルビー 10上から消去されます。

**ノート:** 稀にアップデートが表示された、無効な設定情報エラー画面が表示されることがあります。この画面が表示された場合、VHUファイルをUSB-Cフラッシュメモリにコピーし、本体のUSBポートに挿入した上で、アップデートを押してください。



ライブビュー時に画面をタップすることで表示されるメインメニューアイコンから、メニューにアクセスすることができます。

メインメニューでは、デフォルトモードまたは詳細モードによって表示されるメニューが異なります。デフォルトモードは、詳細モード一部の機能に限定したモードなので、この章では詳細モードについて説明していきます。2つのモードに関して詳細は、17ページの「デフォルトモードと詳細モード」をご参照ください。



メインメニューでは、表示や、言語など本体の設定を行うことができます。メインメニュー上に表示されているアイコンをタップすると、別のメニュー画面や、機能を実行する画面に移動します。

この章では、メニューや設定画面などルビー 10の設定の変更に関する概要を説明します。メインメニューには、その他のメニューや設定画面に移動するためのアイコンが表示されます。

メニュー内で前の画面に戻るには、戻るアイコンを繰り返し押してください。緑色のライブビューボタンを押すと、メニュー画面から完全に抜けることができます。

## ファイル管理

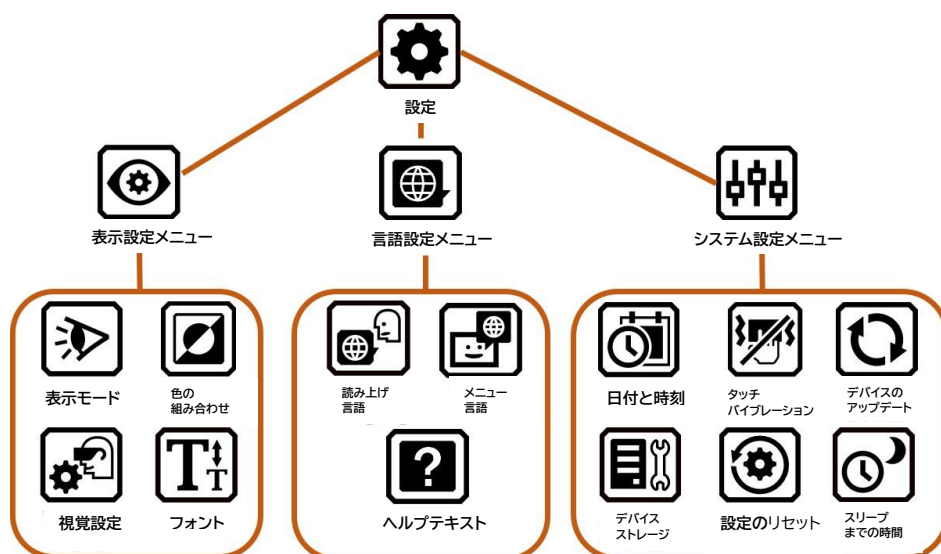


画像タブと文書タブがあるファイル画面を表示します。この画面から、ファイルへのオーディオタグ設定や、ファイルのインポート/エクスポートが可能です。

## 設定メニュー



設定メニューを開きます。設定メニューの中には、表示設定、言語設定、システム設定のアイコンがあります。





## 画面表示メニュー



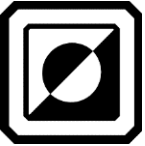
表示モード、色の組み合わせ、視覚設定、文字の大きさの設定画面を表示します。

### 表示モード



認識した文書/テキストの表示モードを設定します。文書をデフォルトでどのように表示するかを設定します。フルイメージ、プロンプタ、ティッカーから選択できます。ハイライトの方法は、下線またはボックスから選択できます。詳しくは63ページの「表示モード」をご参照ください。

### 色の組み合わせ



表示する色の組み合わせを設定できます。テキストの色と背景の色の組み合わせを追加できます。追加した色の組み合わせは、青いカラーモードボタンを押して切り替えてください。

### 視覚設定



光感受性と色覚フィルターを設定できます。

### フォントサイズ



メニュー、各画面、ヘルプテキストなどルビー 10のユーザーインターフェースで使用するテキストのフォントサイズを24pt~72ptから設定できます。

## 言語メニュー



読み上げ言語・メニュー言語・ヘルプテキストの設定画面を表示します。

## 読み上げ言語



読み上げ言語の選択画面を表示します。言語タブから、テキスト認識に使用する言語を選択してください。音声タブでは、認識したテキストを読み上げる音声を選択できます。

## メニュー言語



メニュー言語の選択画面を表示します。言語タブから、メニュー、各画面、メッセージ、ヘルプテキストで表示する言語を選択します。音声タブでは、必要に応じて読み上げの音声を選択できます。

## ヘルプテキスト



ヘルプテキスト画面を表示します。各ボタン/アイコンを3秒長押しした際に、それぞれの機能を説明/表示させるための設定です。

## システム設定



システム設定画面を表示します。本体の日付と時刻・タッチバイブレーション・デバイスアップデート・デバイスストレージ設定の画面に移動できます

### 日付と時刻



日付と時刻画面を表示します。日付と時刻の横のペンアイコンをタップすると、**日付の選択画面**、**時刻の選択画面**に移動します。スワイプ操作で日付と時刻の数値を選択できます。時刻はメニュー画面の右上に表示され、保存するファイルには設定した時刻と日付のタイムスタンプが付きます。

### タッチ バイブレーション



このアイコンをタップするとバイブレーションのオン/オフを切り替えることができます。

### デバイスの アップデート



デバイスのアップデート画面を表示します。本体のファームウェアを最新のリリースに更新できます。詳しくは76ページ「ルビー10のアップデート」をご参照ください。

### デバイスストレージ



デバイスストレージ画面を表示します。本体の空き容量が残り何ギガあるか表示されます。詳しくは69ページ「ファイルの保存可能容量と削除」をご参照ください。

## 設定のリセット



設定のリセット画面を表示します。「はい」を選択すると、本体の設定が工場出荷時の設定に戻ります。リセット後は、ルビー 10の初回起動時と同様にメニュー言語、音声、フォントの設定が必要になります。初期設定について詳しくは2ページの「初めての使用」をご参照ください。

## スリープまでの時間



スリープまでの時間画面を表示し、自動的に本体がスリープに入るまでの、時間を設定できます。選択可能な値は、無しから**30分**です。値を選択し、「戻る」を押すと設定が反映されます。

## デフォルトモード／詳細モード



デフォルトモード/詳細詳細モードを切り替えます。

## 情報



情報画面を表示します。本体の技術的情報や、サポートの問い合わせ先などが表示されます。技術サポート画面では、削除ボタンを押すとこれまでのサポート情報を消去できます。エクスポートボタンを押すと、サポートデータをUSB-Cメモリ、または、USB-Cケーブルを使用して接続したコンピュータへエクスポートできます。

## Miracast



**Miracast**画面を表示し、ルビー 10を他のディスプレイデバイスやテレビと接続できます。

## Bluetooth



**Bluetooth**画面を表示し、Bluetooth接続を使用して他のデバイスと接続できます。

## 視覚効果



視覚効果画面を表示し、コントラスト、エッジのスムージング/ハイライト、画面の明るさを変更します。詳細は50ページの「視覚効果」をご参照ください。

## 音設定



音設定画面を表示し、スライダーの上げ下げで本体の音量と読み上げ速度を変更できます。右側のスピーカーマークが音量、左側のウサギとカメが読み上げ速度を表します。